

野生動物の「保全」を考えてみて

動物応用科学科 3年山本詩織

「動物が好き。」「野生動物の生態やその保全に興味がある。」

私が野生動物について研究室したいと思ったのは、上の2つの気持ちがあったからです。

これまで、私は「保全」＝「動物を守ること」だと思っていました。でも、大学に入ってから様々な授業を受けていくうちに、「保全」への考え方が変わりました。今は、動物だけでなく、人間も含めた複雑な環境と動物との関わりを考慮し、その動物が暮らす自然環境を守ることも「保全」であると思っています。

世界には多くの動物がいますが、その中には絶滅に瀕しているもの、増えすぎて駆除されているものなど、人間の影響を受けているものがたくさんいます。私は、主に絶滅危惧種の保全に重きを置いて、これらの動物と人間が今後どう関わり合っていけばいいのか、また、その動物を守ることで環境にとってどのような

効果があるのかを伝えて行きたいと思っています。

このように考えている私が、絶滅危惧種の1つであるマレーバクの採食実験を行う機会をいただけたことは、本当に幸運だと思っています。まだ、どのような実験内容になるかは確定していませんが、先生方や研究室の仲間達とも相談し、試行錯誤しながら、自分だけでなく、この実験を知った人が面白い・興味深いと思えるような研究をしたいと思っています。今のところ、バクをメインの研究にして、他のテーマの実験をサブにやりたいと考えていますが、アフアンの森や金華山など、この研究室には興味深いテーマが盛りだくさんなので、頑張っけて絞り込んでいきたいと思っています。

まだまだ知識がなく未熟者ですが、この研究室で先生や仲間達と学び、語り、支え合って、日々成長できるよう、楽しく充実した研究室生活を送りたいです。